

MT検定

工作機械検定

M A C H I N E T O O L

工作機械って
な～に??

第8回（1級～3級） / 受験料無料!!

「工作機械検定(MT検定)」は、一般社団法人日本工作機械工業会が主催する検定試験です。学生や社会人の方々には、工作機械についての見識を深める「向学心」を喚起して頂き、併せて工作機械を全く知らない方にも、ものづくりや工作機械へ興味を持って頂くため、実施するものです。

学生の皆さんは就職活動を行う際、履歴書に工作機械検定の取得歴を記載ください。

PC・スマホで受験できる！ その場で合否判定！

※受験内容の詳細は裏面をご覧ください

1級・2級

応募期間は、10/1～12/31

合格者に認定証を発行

3級

通年実施、いつでも受験可能

「トコトンやさしい工作機械の本」 贈呈

学生の合格者(高専・大学の学生は2級以上の合格者)を対象に、抽選で50名様に贈呈!

工作機械メーカー訪問先をご紹介します

学生の合格者(高専・大学の学生は2級以上の合格者)で希望される方には、日本工作機械工業会会員企業の訪問先をご紹介します!

スマホは
こちらから!



<https://www.mt-kentei.jp>

【主催】



一般社団法人
日本工作機械工業会

<https://www.jmtba.or.jp>

〈受験内容・レベル〉

1級…

学生の皆さん、工作機械業界や機械系の企業に従事されている方を対象に、難易度を上げた出題内容としています。受験者自ら調べることにより、ものづくりへの興味や理解を深めて頂きたいと存じます。工作機械について知見を深める参考資料としては、「工作機械設計学(基礎編・応用編)」があります。

2級…

工業高校・高専・大学などで機械工学の勉強をされている方、一般の方々を対象に、工作機械の役割や種類、歴史や市場など、幅広い観点から工作機械への知見を深めて頂くため、参考資料集を見て回答できる内容としました。

3級…

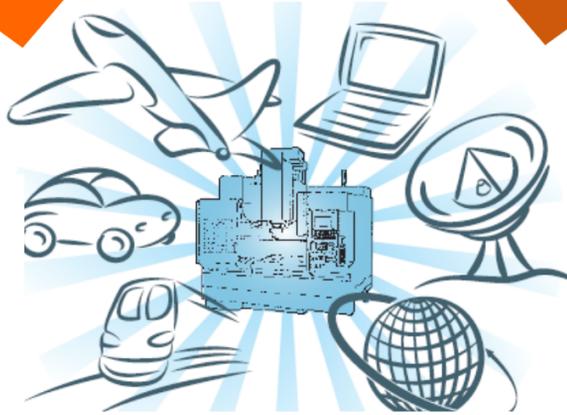
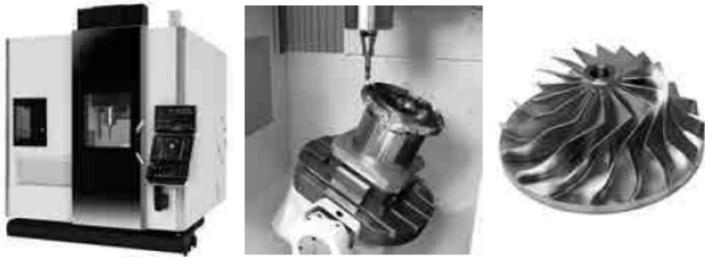
小学生、中学生の皆さんを対象に、工作機械やものづくりに興味を持って頂くための問題を用意しました。

◆工作機械って、何？ 何に使われているの？

工作機械は、スマートフォンや時計、家電製品・デジタル機器、等に必要な精密部品から、自動車、航空機、船舶などの移動手段、人工骨や人工関節に至るまで様々な製品の一部を作り出し、人々の暮らしを快適・便利にする「ものづくり」のための機械です。

また、機械類を構成する精密で複雑な部品や金型を、正確かつ効率的に作ることも工作機械の役割です。工作機械は、「機械をつくる機械」、「マザーマシン（母なる機械）」ともいわれています。

【例：5軸制御マシニングセンタ
と加工サンプル】



【例：積層造形装置と加工サンプル】



工作機械・ものづくり関連施設（博物館・資料館等）

・ 日本工業大学工業技術博物館

埼玉県・南埼玉郡宮代町 https://hotozero.com/museum/nit_museum/

・ 科学博物館

東京都・台東区上野 <https://www.kahaku.go.jp/>

・ TEPIA 先端技術館

東京都・港区北青山 <https://www.tepia.jp/exhibition>

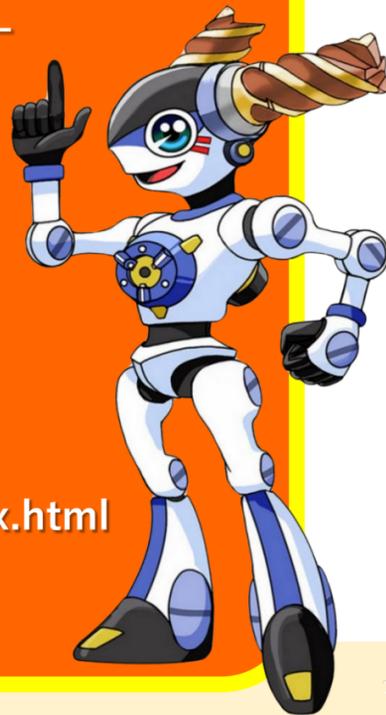
・ 三共工作機械資料館

静岡県・菊川市 <https://www.sankyo-seisakusho.co.jp/museum/index.html>

・ ヤマザキマザック工作機械博物館

岐阜県・美濃加茂市 <https://machine-tools-museum.mazak.com/>

行ってみて！



【一般社団法人日本工作機械工業会（略称：日工会=にっこうかい）とは？】

工作機械産業の総合的発展を図るとともに、関連工業の繁栄と日本経済の振興に寄与することを目的として、1951年12月に創立されました。日工会は、切削型工作機械のメーカー団体ですが工作機械事業に関連する総合的な団体を目指し、2001年よりCAD/CAMなどのソフトウェア事業者、周辺装置メーカーに、2017年からは三次元積層造形装置（3Dプリンタ）メーカーに対しても門戸を開放しました。2025年7月時点の会員数は111社で、会員による工作機械生産額は日本国内生産額（経済産業省：生産動態統計調査）の90%以上を占めるといわれています。

日工会は、各種委員会、研究会等を設置して、工作機械産業の発展のため幅広い事業活動を展開しています。